

わくわく 本だな



こんげつのおすすめ



★ = 1・2年

★★ = 3・4年

★★★ = 5・6年

『空とぶペーター』 (えほん)

フィリップ・ヴェヒター／作・絵 天沼 春樹／訳
徳間書店



ペーターは、にんげんなのにそらをとぶのがとくい。たびをするのもわりどりといいしよ。だけど、なかまがつかまって…。

『江戸の子ども ちょんまげのひみつ』 (えほん)

菊池 ひと美／作・絵 偕成社



ちょんまげは、江戸じだいのおとなの男の人のかみがたです。では、男の子たちはどんなかみがただったのかな？

『おさきにどうぞ』 ★

森山 京／作 ささめや ゆき／絵 文溪堂

ネコのおばあさんに「おさきにどうぞ」といわれたブタのこ。つかったことがないことばです。さっそくともだちにつかってみました。



『わらうきいろオニ』 ★★

梨屋 アリエ／作 こがしわ かおり／絵 講談社

オニっていったら赤オニや青オニ。きいろいオニなんてヘンだから、みんながなかよくしてくれないのかな？



『ふしぎな声のする町で ものだま探偵団』

★★★ ほしお さなえ／作 くまおり 純／絵 徳間書店



古い家に引っ越した七子^{ななこ}は、だれかのひそひそ声が聞こえるようになりました。それは、古い道具たちがはなす声だったのです。

『美術館ってどんどこ？』 (ちしきの本)

フロランス・デュカトー／文 シャンタル・ペタン／絵
野坂 悦子／訳 西村書店



美術館にあるのは絵や彫刻^{ちようこく}だけではありません。何があるのかな？美術館の中をたんけんしよう！



『おうちにいれちゃだめ!』 (えほん)

ケヴィン・ルイス/作 ディヴィッド・エルコリーニ/絵

長友 恵子/訳 フレーベル館

いきものが大すきなリビングストーン。つかまえたどうぶつを、おうちにつれてかえます。ネズミにブタに、ゾウまでも!



『はなねこちゃん』 (えほん)

竹下 文子/作 いいいつとむ/絵 小峰書店



はなちゃんが、ねこのえをかきました。ところが、ひげをかくまえにでかけてしまいます。はやくかいてもらわなきゃ!ねこは、えをとびだしました。

『ケンタとアマノジャック』 ★

山下 美樹/作 市居 みか/絵 文溪堂



ケンタは、だれの言うこともきかないへそまがり。ある日、森の中でこまっていると、オニのアマノジャックがあらわれました。

『おばけのナンダッケ』 ★

巢山 ひろみ/作 石川 えりこ/絵 国土社

おばけのナンダッケのごはんは、人間の“かんがえごと”です。パン屋さんは、あるかんがえごとを食べられてパンをまっくろにこがしてしまいます。

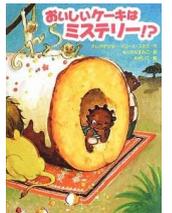


『おいしいケーキはミステリー!?』 ★★

アレグザンダー・マコール・スミス/作

もりうち すみこ/訳 木村 いこ/絵 偕成社

プレシャスは生まれながらの名探偵。はじめての事件は7さいのときでした。友だちのうたがいを晴らすため、すばらしいことをおもいつきます。



『タイムスリップ海賊 サム・シルバー①』

伝説の秘宝をさがせ! ★★

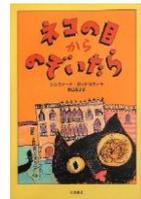
ジャン・バーチェット/サラ・ポラー/著 浅尾 敦則/訳
スカイ エマ/絵 メディアファクトリー



サムが浜辺でひろった金貨をみがいとたん、300年前へタイムスリップ。さあ、海賊船に乗りこめ!

『ネコの目からのぞいたら』 ★★★

シルヴァーナ・ガンドルフィ/作 関口 英子/訳 岩波書店



ダンテがふしぎな目薬をさすと、ネコの見ている景色が見えるようになった。そこで誘拐事件を目撃する。

『何か came』 ★★★

東野 司/作 佐竹 美保/絵 岩崎書店

ユウセイの住む地区の大人が、突然別人のように変わってしまった。一体町に何が起こったのか…。



『マングローブの木—アフリカの海辺を緑の林に—』

(ちしきの本) スーザン・L・ロス/文・コラージュ

シンディ・トランボア/文 松沢 あさか/訳 さ・え・ら書房

塩水でも育つ木を植える活動があります。アフリカの貧しい村が、うるおいはじめました。



読みたい本、さがしている本は窓口で聞いてね! としょかんのホームページも見てください。

< 編集・発行 > 富山市立図書館 富山市丸の内1丁目4-50 電話 076-432-7273